

女性センター検討小委員会中間報告

…こんな女性センターにしたい…

人種、国籍、年齢、障害等にかかわらず、女性たちが、ここにすれば、自分を解放し、自己をみつめることができる。ここにすれば、いろんな人に会え、結びつきがうまれる。ここにすれば、悩みを語り、共有し、解決に導ける。ここにすれば、ともに学び、考え、行動することができる。そして、ここにすれば、女性のこと、男性のことがわかる。ここにすれば、老いも若きもすべての男女が元気になれる場にしたい。加えて、西東京市民男女すべての安全と幸福の実現に寄与するとともに、世界の平和につながることを願っています。

男尊女尊時代のオアシス(拠点)づくり

何気なく繰り返されていく平凡な日々、あなたは自分らしい人生を生きていますか。

男女共同参画社会基本法の成立により、女性の地位向上問題は、男性とともに進める男女平等参画推進施策に変わりましたが、人々の意識は早急には変えがたく、男女の能力や役割に対する固定的考えには根深いものがあります。真の男女平等を実現していくためには、こうした固定概念を払拭し、一人ひとりが自分らしい生き方を実現できる、「創造性の育つまちづくり」(注1)が重要です。

西東京市では現在、男女平等参画推進委員会により男女平等参画推進のプランづくりが進んでいます。女性センター検討小委員会は、推進委員会に女性センター構想を提言するため審議をすすめています。センター建設への思いは上の「こんな女性センターにしたい」に綴ったとおりです。そこには、検討小委員会メンバーの願いがあつく込められています。私たちのめざすものは、老若男女市民誰もが性別にかかわらず個人として尊重され、男女が対等な立場であらゆる活動に参画し責任を分かち合う男女平等参画社会です。

しかしながら、女性にとつてはまだまだ不自由かつ生きにくいのは事実のようで、市民の多くも、男性の方が優遇されていると感じています(注2)。そこで女性センターでは、まだまだ解決されない女性に関わる問題を支援するとともに男女平等に対する意識の向上に取り組まねばならないと考えています。

男尊女尊時代のオアシス(拠点)である女性センターづくりについては、理念↓目的↓機能↓事業展開とともに、センターの運営・管理や施設設備・環境にいたるまで、できるだけ具体的に提案するつもりです。十月末の提出に向け、委員七人の奮闘は続きます。

(注1) 「西東京市基本構想・基本計画案 中間のまとめ」より  
(注2) 「男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査報告書」平成一五年三月より

「アリーテ姫の冒険」

ダイアナ・コールズ作/ロス・アスキス絵  
グループ ウィメンズ・プレス訳/  
学陽書房発行/980円



昔話のヒロインは、いつも王子様を待っていて、きれいだか知的ではないのが普通。でも、このアリーテ姫は、本が好きで賢くて冒険が好き、積極的で自分の意見をはっきり言う女性。結婚を急ぐ父親の意思で、魔法使いと結婚することになったアリーテ姫は…。

「お姫様とジェンダー」

若森みどり著/筑摩書房発行/680円



女性は幼い頃、白雪姫や眠り姫などを夢中で読みながら、王子様の出現を待つ。やがて、自分はお姫様ではなく王子もいないと知ったとき、どうするか…。本書は知らず知らず思いこまされていた「女らしさ」「男らしさ」の呪縛から自由になる「ジェンダー学」の入門書である。お馴染みの童話を切り口にして解りやすいのがうれしい。

「おんなと日本語」

れいのす=秋葉かつえ編/有信堂発行/2781円



10年前に書かれた、言葉は思考をつくるというこの本は、今私たちが日々意識し変革を求め続けなければならぬことが、いっぱい詰まっている。辞書の中にも男女差別的言語が使われ、影響を与え続けている。批判、運動により是正されるものもあるが、私たちの周りには、意識しなければ、次世代へ伝えてしまう言葉が溢れていることを学べる。

\*西東京市内の図書館にありますのでご覧ください。

編集後記

●私は子ども達に男女の区別なく接してきたらうか。彼らに見せてきた夫との生き方は男女平等参画とは言い難い。両親への遠慮という隠れ蓑も脱がなければ… (市川敏子)

●差別の再生産の場になるのが家庭。よほどの意識がないと、いったん染み付いたものは、なかなか拭い去れない。口先だけではなく、実質的になくしていきたいけど。(古賀節子)

●経済成長を必死で支えてきた。しかし企業年金は目減りして老後は不安。もし私が夫なら、こんなはずではなかったと、せめて家族のいたわりを一身に思うかも。(齋藤三枝子)

●次男の車に同乗した折、車と道路について聞く「俺、車も道路も詳しくないから」と。私の「だって男でしょう!」に、「出ました!」いきなりジェンダーですか(早乙女とみえ)

●男女平等への道に逆風が吹いている。自覚的に社会を見ることが大事。社会慣習や政治家、マスメディアの影響にくじけそうでもあるが奮起。(新宮洋子)

**エガール** VOL.6 2003年9月

企画・編集 エガール編集委員会  
発行 西東京市市民生活部生活文化課  
男女平等推進係  
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-15-11  
西東京市民会館内  
(電話) 0424-50-0055  
(FAX) 0424-50-0050  
編集委員/市川敏子・古賀節子・齋藤三枝子  
・早乙女とみえ・新宮洋子  
デザイン・印刷/コロニー東村山印刷所

ご意見、ご感想をお寄せください。